

## 総会アピール

かつて高度成長と言われていた時代、都市郊外の緑は急速に失われていった。

緑のある環境は、生物多様性を担保するものであり、緑の多い生活環境は、そこに住む人々の心に潤いを与える。

また、緑は空気浄化機能を持ち、良好な都市環境に寄与している。

最近では、地球温暖化が危惧されるなかで、二酸化炭素の吸収源としても無くてはならないものになっている。

しかるに、近頃県内で藤沢市の「川名緑地」や横浜市栄区の「瀬上の森大規模開発」など、市街化地域に残された貴重な緑を消失させる道路計画や、更に市街化調整区域として計画的に緑が守られてきた地域を、市街化区域へ指定変更する動きなどがある。

いまや、長期的にしかも広域的に緑を増やす方向で、計画的な都市環境の改善を図らなければならない時に、逆行した動きと言わざるを得ない。

子々孫々に誇れる、良好な生活環境の保全と創出のために関係自治体の英断を切に願って、本日このアピールを採択する。

2008年5月31日

NPO法人神奈川県自然保護協会総会